

例題

☆ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

学習の要点

説明文や論説文を読むときには、指示語や接続語の働きをおさえたうえで、文章の流れをとらえることが大切です。

① 指示語の指示内容をとらえる

指示語とは……「これ・それ・あれ・どれ」などの物事を指し示す言葉。「こそあど言葉」ともいいます。

①直前の部分に着目……指示語の指示内容は、ふつう指示語の前↓
 近いところからさかのぼってさがします。

例 古書店に行った。そこで昔のマンガを買った。

指示語

②指示語の部分に置きかえてみて、文意が通るかどうか確認↓形を整える必要がある場合があります。

例 本をもらった。それは戦国武将の本だった。

↓「もらった本」

② 接続語の働きをとらえる

接続語とは……語句と語句、文と文、段落と段落などをつなぎ、その関係や意味のつながりを表す言葉。

①前の内容が後の原因・理由となる(順接)……だから・それで など

例 Aである。だから、Bなのである。

②前後の内容が逆の関係にある(逆接)……しかし・けれども など

例 Aである。しかし、Bである。

③並べたり付け加えたりする(並立・累加)……また・そして など

(注) 葦、アシ：池や川の水ぎわに生える草。高さは一〜三メートル。
(沢田允茂「少年少女のための論理学」より)

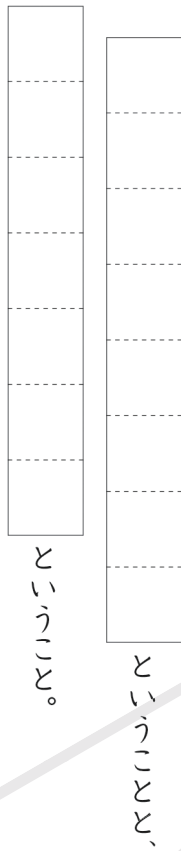
問一 1・2 にあてはまる接続語を次から選び、それぞれ

- 記号で答えなさい。
- ア ところが イ なぜなら
- ウ だから エ それとも
- オ また



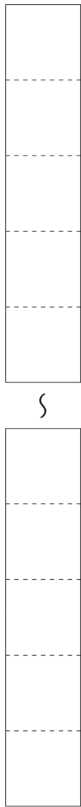
問二 線「このこと」が指していることをまとめた次の文の□

にあてはまる言葉を、文章中から書きぬいて答えなさい。



問三 この文章で筆者が最も言いたいのとはどんなことですか。それを

表している一文を文章中からさがし、はじめと終わりの五字を書きぬいて答えなさい。



考え方

問一 1の前ではアリストテレスの言葉が、後ではパスカルの言葉がしうかいされていて、人間はくだぐという言葉が並べられています。ですから、並立・累加の接続語があてはまります。

2の前で述べられているのは、人間は弱い生物で、自然のちよつとした変化でほろぼされる、ということ。後で述べられているのは、人間は自分が殺されるということを知ることができるということ。弱ければ別の強みがあるという、内容的に逆の関係にあるので、逆接の接続語があてはまります。

問二 どういうことを一度知れば、殺されないように、強くなるように、いろいろな方法を考え出すようになるのかを、指示語より前の部分に注目してとらえましょう。

問三 ①段落で、「もつとも人間らしい点はどこにあるのでしょうか」と問いかけ、②③④段落でそのことについていろいろと考察し、その内容を指して、⑤段落で、「この『考える』というはたらきこそ、もつとも人間らしいことなのです」とまとめています。文章全体の流れをおさえたいうえで読み取っていきましょう。

例 Aがある。また、Bもある。
 ↓ AとBが並立していることを示す

④ 比べたり、選んだりする(対比・選択)：あるいは・または など

例 Aにしますか。あるいは、Bにしますか。
 ↓ AかBのどちらかを選ぶことを示す

⑤ 前の内容に説明や補いをする(説明)：たとえば・なぜなら など

例 Aなのである。なぜなら、Bだからである。

⑥ 話題をかえる(転換)：さて・では・ところで など

例 Aなのである。ところで、Bについてはどうですか。
 ↓ 話題をかえることを示す

☆ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

45 40 35 30 25

(注) 星雲…光って雲のように見える天体。

いん石…流星が燃え残って地球上に落ちてきたもの。

(大島泰郎「生物は生き残れるか？」より)

すい星…太陽のまわりを回っているガスや氷のかたまり。
 細胞…生物の体をつくっている最小単位。
 太陽電池…太陽の光を電気にかえて利用する電池。
 光合成…光のエネルギーを使って、二酸化炭素(炭酸ガス)と水からでんぶんをつくるはたらき。

□定番問題 □1 にあてはまる接続語を次から選び、記号で答えなさい。

さい。 (接続語)

- ア しかも イ しかし
- ウ つまり エ だから

□問一 — 線①「この実験」について、次の問いに答えなさい。

(1) いつ、だれが行った実験のことを指していますか。文章中から書きぬいて答えなさい。 (指示語)

いつ	だれ
----	----

(2) この実験でどのようなことが証明されたのですか。次から選び、記号で答えなさい。

- ア 星雲の中にあるガスとおなじ成分のガスが、電気の火花の放電によってできること。
- イ 星雲の中では、電気の火花の放電によってさまざまなガスがつくられていること。
- ウ 星雲の中にあるガスとおなじ成分のガスに電気の火花を放電すると、生命の材料ができること。
- エ アミノ酸や有機酸に電気の火花を放電すると、生命の材料とおなじものができると。

□問二 — 線②「それら」は、何を指していますか。次の文の□にあてはまる言葉を、文章中から書きぬいて答えなさい。 (指示語)

□のなかにある、□を生みだしたも
 とになる材料。

□問三 □2 にあてはまる言葉として最もふさわしいものを次から

- ア 能率のよい生活 イ 能率のわるい生活
- ウ かんたんなくみ エ 便利な生活

□問四 — 線③「これ」は、どんなことを指していますか。次の文の□にあてはまる言葉を、文章中から書きぬいて答えなさい。 (指示語)

□の一部の細胞が□を見つけたこと。

□問五 — 線④「その生物」とは、どういう生物を指していますか。「生物」に文章中から十九字で書きぬいて答えなさい。 (指示語)

生物。	生物。
-----	-----

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30 25

1 説明文・論説文(1) 文章の流れ

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりしますのでご安心ください。

(注) エポックメイキング…画期的。新しい時代を開く出来事。
 (中村桂子「私のなかにある38億年の歴史」より)
 機械論的世界観…世界は原因と結果の連鎖によって、時計(機械)のよ
 うに動いている、と考える物の見方。

60

55

問一 線①「挑戦」とは、どのようなことですか。文章中から
 十一字で書きぬいて答えなさい。

文章の流れ

こと。

問二 線②「よくよく考えると、これはすごいことです」とあ
 りますが、筆者がこう言う理由について、次の
 はまる言葉を、文章中から十字以内で書きぬいて答えなさい。

指示語 文章の流れ

植物が、
 水を高所まで吸い上げているから。

問三 線③「生きものの進化の凄さ」とありますが、人間の進
 化の過程について、次の
 文章中からAは九字、Bは二字で書きぬいて答えなさい。

人間の
 Aは、3億6000万年前から3億8500万年
 前の生きもののヒレの骨などから、
 Bは魚類から、その進
 化の過程をたどることができる。

問四 線④とありますが、そのために人間がすべきことは何で
 すか。「挑戦」という言葉を使って四十字以内で答えなさい。

接続語

- 1・2 1
 A 1
 2
 B 1
 2
 イ 1
 ウ 1
 オ 1

問五 線⑤とありますが、そのために人間がすべきことは何で
 すか。「挑戦」という言葉を使って四十字以内で答えなさい。

文章の流れ

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25

20

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

55

50

45

40

35

30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

85

80

75

70

65

60

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

95

90

(注)

(山極寿一「人生で大事なことはみんなゴリラから教わった」より)
シルバーバック……背中の毛が白い、大人の雄のゴリラ。
第9章……この文章の前の第9章に、個性は言葉では説明できないことを、
ゴリラが教えてくれたと書かれている。

問

筆者は、友達をつくるためには、どうすることが大切だと述べていますか。「距離」、「個性」という言葉を使って書きなさい。

主語・述語・修飾語

文は、ふつう、いくつかの「文節」からできています。「文節」とは、聞いたときに不自然にならないように、意味がわかるはんにてできるだけ小さく区切ったまとまりのことです。切れ目には「ネ」や「サ」を入れて話すことができます。

●主語・述語

一つの文は、ふつう「主語」と「述語」がもとになって組み立てられています。

(1) 「何が(は)」にあたる文節を「主語」といいます。

「何も・何こそ・何だけ・何さえ」も主語になります。

(2) 「どうする・どんなだ・なんだ」にあたる文節を「述語」といいます。

主語や述語のない文もあります。例 どなた？

(3) 主語・述語は、文を組み立てる最も大切な骨組みになり、次の四つの基本型があります。

A 何が(は) どうする 例 父が 走る。

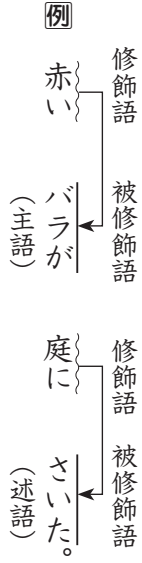
B 何が(は) どんなだ 例 夏は 暑い。

C 何が(は) なんだ 例 妹は 四才だ。

●修飾語

主語や述語、あるいはそのほかの文節にかかって説明を加え、くわしくしている文節を修飾語といいます。

くわしく説明されている文節を「被修飾語」といいます。



□問一

次の各文の主語と述語を答えなさい。また、答えにあたるものがないときは、解答欄に×印を書きなさい。

- (1) わたしは昨夜十一時にねました。
- (2) 庭の花がとてもきれいだ。
- (3) あの女性は、ぼくの母です。
- (4) 鳥のたまごが巣の中に五つある。
- (5) ぼくたちは、山道をだまって歩き続けた。
- (6) 早くしないと、試合におくれるよ。
- (7) 平和は世界じゅうの人たちの願いだ。
- (8) いつ聞いてもおもしろいね、田中さんの話は。

(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	
								主語
								述語

問二 次の各文の主語と述語の関係を後から選び、それぞれ記号で

答えなさい。

- (1) 大きな犬がネコを追いかける。
- (2) 家には母がいます。
- (3) この学校の校庭はとても広い。
- (4) 白い雪が一晩じゅう音もなく降った。
- (5) ここがぼくたちの新しい家だ。
- (6) 外はなんだかさわがしい。
- (7) あれが有名な遊園地です。
- (8) つくえの上はきれいだ。

ア 何が どうする
 イ 何が どんناد
 ウ 何が なんだ

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (5) | (1) |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| (6) | (2) |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| (7) | (3) |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| (8) | (4) |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |

問三 次の各文について、主語・述語がそろっていればア、主語が

省略されていればイ、述語が省略されていればウで答えなさい。

- (1) 山でカブトムシを見つけた。
- (2) 先生がきみのことをさがしていたよ。
- (3) あっ、イルカがあんなところに。
- (4) ぼくの消しゴムを貸してあげるよ。
- (5) いつまでも友達だよ、ぼくたちは。
- (6) はじめまして、君の名前は。

- | | |
|-----|----------------------|
| (1) | <input type="text"/> |
| (2) | <input type="text"/> |
| (3) | <input type="text"/> |
| (4) | <input type="text"/> |
| (5) | <input type="text"/> |
| (6) | <input type="text"/> |

問四 次の各文の でかこんだ文節（修飾語）が修飾する文節

（被修飾語）をさがし、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 赤い セーターを着た女の子を 知りませんか。
- (2) ぼつぼつと 大つぶの雨が 屋根を たたく。
- (3) わたしは 毎朝 七時に 必ず 起きます。
- (4) 兄よりも 弟の ほうが だいぶ 足が 速い。
- (5) 算数の テストで 初めて 百点を 取った。
- (6) 氷の上を おそろおそろ 二頭の シロクマが 歩く。
- (7) まどの 外に 冷たい 雪が ちらちらと 降る。
- (8) 一日中 冷たく 雨が しとしとと 降った。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (5) | (1) |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| (6) | (2) |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| (7) | (3) |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| (8) | (4) |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |

問五 次の各文について、例にならって、主語と述語を でか

こんで示し、また、文節どうしのつながりを矢印で示しなさい。

例 二羽の カラスが 木の 上で 鳴く。

(主語)

(述語)

- (1) 桜の花びらが ひらひらと まう。

- (2) ぼくの 弟の ひろしは もうすぐ 一年生です。